

公立大学法人 横浜市立大学

リモートデスクトップシステム
(情報教育実習室遠隔操作システム)
利用者向け説明会

八景キャンパス：10:00～11:00（情報実習室E）

福浦キャンパス：16:00～17:00（看護棟情報実習室401）

2015年 3月 26日

Agenda

1. リモートデスクトップサービスの概要
2. 利用手順について
3. 注意事項
4. その他・質疑応答

1. リモートデスクトップサービスの概要

• リモートデスクトップとは

- リモートデスクトップとは、PCのデスクトップ環境をサーバー上で稼働させる仕組みです。「クライアント仮想化」や「仮想デスクトップ」、「VDI（Virtual Desktop Infrastructure）」と呼ばれることもあります。
→横浜市立大学では、リモートデスクトップと呼びます。
- サーバ上のデスクトップ環境を、色々なPCやタブレット端末に接続して利用できる為、いつでもどこでもデスクトップ環境を実行できる利便性が高いシステムです。
→横浜市立大学では、学内の教育研究ネットワークが接続されている所であれば、どこからでも実習室端末とほぼ同等のデスクトップ環境を利用できるシステムです。但し、同時利用30台や1回辺りの利用時間等制限はあります。
- 代表的なソフトウェアとしては、Vmware社の「VMware Horizon (with View)」、Citrix社の「Citrix XenDesktop」、マイクロソフト社の「Microsoft VDI」などがあります。
→横浜市立大学では、Citrix XenDesktop を用いて稼働しております。

1. リモートデスクトップサービスの概要

- リモートデスクトップの導入目的

- 実習室以外でも、実習室端末にのみインストールされている有償アプリケーションを利用できるようにする事により、ユーザの利便性と有償アプリケーションの利用率を向上する。
- 実習室端末とほぼ同様の操作、利用が出来る為、実習室の開放時間を気にせずに授業向けの資料作成等を行う。

1. リモートデスクトップサービスの概要

• 用語の説明

- VDIコントローラ：PCやタブレットからリモートデスクトップを利用する為にアクセスするサーバ
- Citrix Receiver : PCやタブレットにインストールして、リモートデスクトップを利用する為に必要となるソフトウェア。
- PVS : Citrix社の ソフトウェア（XenDesktop Provisioning Service）の略称。
サーバ上にデスクトップ端末のイメージを保有し、ネットワーク経由でブートさせる仕組みを実現する。
- Citrix Receiver : PCやタブレットにインストールして、リモートデスクトップを利用する為に必要となるソフトウェア。

1. リモートデスクトップサービスの概要

持ち込み端末
研究室PC

実習室A～G



ブラウザから、[VDI Controller]に接続し、認証後 viewer が起動します。
ログオンした状態で、選択したイメージがCitrix viewer上で起動します。

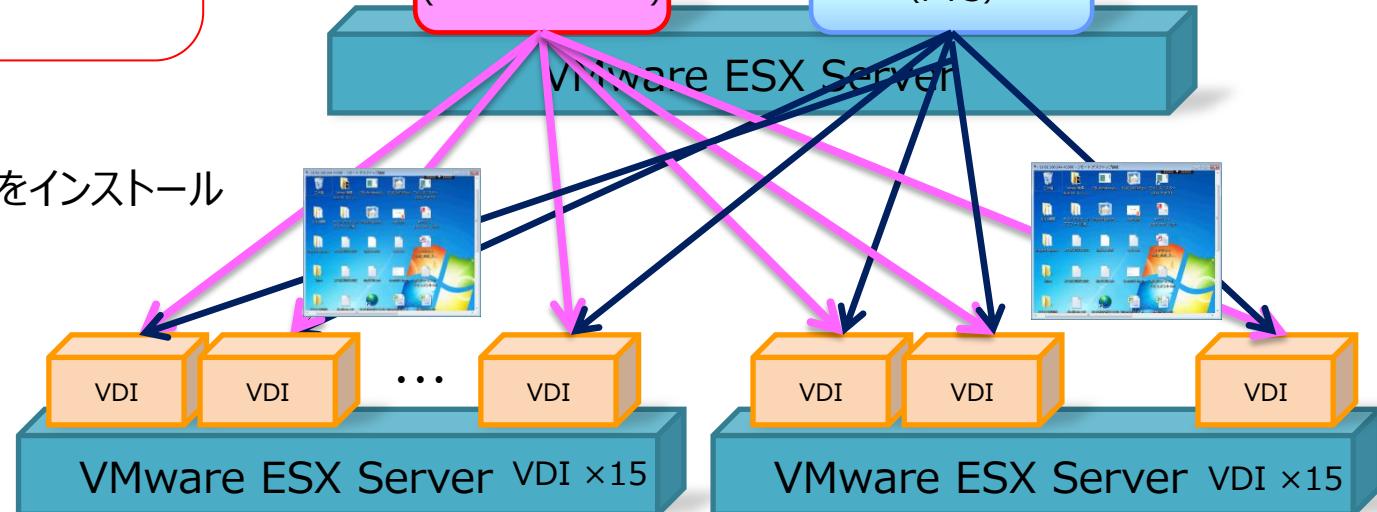
※接続元の端末には、
予め[Citrix receiver]をインストール
しておく必要があります。

◆イメージは、PVSサーバ上に保存
イメージ①： VDI用イメージ



XenDesktop
(VDI Controller)

ネットブートサーバ
(PVS)



1. リモートデスクトップサービスの概要

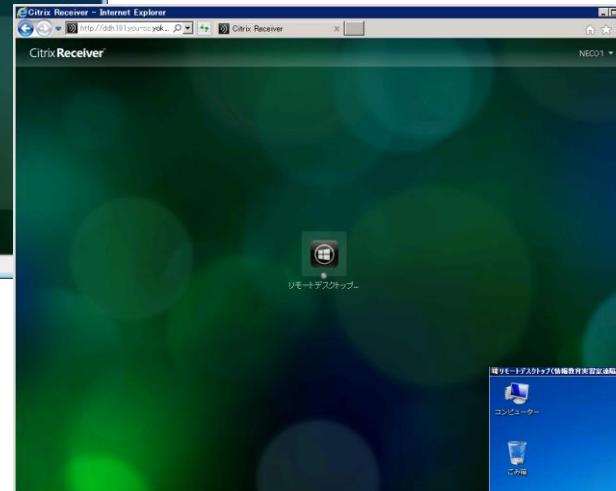
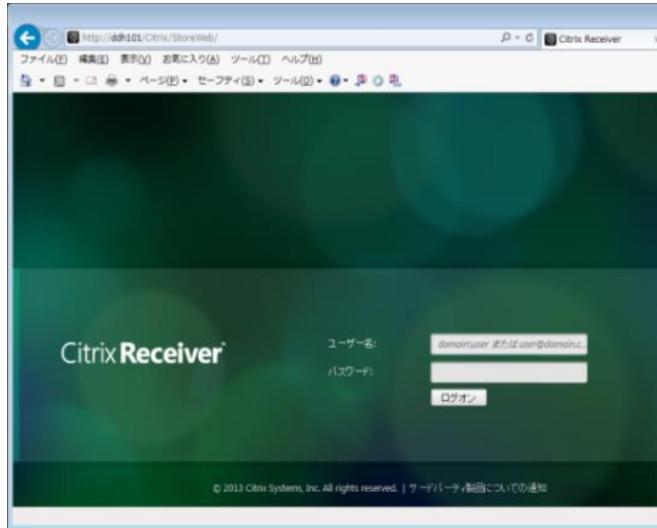
- 利用対象者

- リモートデスクトップサービスを利用できるのは、実習室PCにログオンできるアカウントを持っているユーザとなります。但し、現時点では、学生は対象外としております。
ActiveDirectoryドメイン：YCU-CC にアカウントが存在する方の内、教職員が対象。
例) メールアドレスが nec01@yokohama-cu.ac.jp であれば、ログオンアカウントは nec01

- 利用可能なアプリケーション一覧

- 仮想基盤システム上に仮想PCとして稼働している為、ディスク容量は仮想基盤システム上のディスク容量を使います。1台辺り80GBとして構築しております。ディスク容量を大きく消費するアプリケーションはインストールが困難な為、実習室PCの環境と若干アプリケーションで違いがあります。
別紙2. アプリケーション一覧を参照願います。
 - 実習室PCとの違い
印刷処理はできません。
CD-ROMやDVD等のデバイス系は利用できません。

1. リモートデスクトップサービスの概要



①Webアクセスしログイン認証を行う

②イメージの選択を行う



③仮想PCをリモートから操作

2.利用手順について

「別紙1．リモートデスクトップ利用者ガイド」を参照しながら
実機にて利用してみましょう。

3. 注意事項

- 同時接続は30台までとなっております。31台目を接続しようとした場合はエラーメッセージが表示されて、接続できません。
- **1回辺りの利用時間は2時間**です。この時間になると強制的に切断されます。
現状、利用開始してから何分経過したのかを確認する方法がありません。各自、利用開始時間を認識しておいて下さい。
- リモートデスクトップを接続した状態で、何も操作しなかった場合、**20分で強制的に切断**されます。
同時30台の利用制限がある為、極力放置等を避けて下さい。
- リモート接続した画面(Window)を切断した場合（×をクリックして終了）はサーバ上にセッション情報が残ります。即時、再接続すれば、切断直後の状態から利用可能です。
しかし、**5分後は、自動的にセッション情報を終了させます。**
これは、ネットワークの接続断でも同様となりますので、ご注意願います。
- リモートデスクトップは毎朝4:00～5:00にメンテナンスとして再起動を行います。再起動時にリモートデスクトップ環境は初期化されます。自分のホーム領域以外に保存したデータはすべて消失しますので、ご注意願います。

3. 注意事項

- WindowsOSとMacOS以外のCitrixReceiverはCitrix社の下記サイトからダウンロードして、各自インストールをお願いします。

<http://www.citrix.co.jp/go/receiver.html>

プラットフォームとして、Linux、 Mac、 Android、 iOS、 ChromeOS、 BlackBerry等がCitrix社のサイトでは用意されております。

但し、Windows7、8、Mac 以外のプラットフォームでの動作確認はしておりませんので、要件等は各自確認の上、作業をお願いします。

4.その他・質疑応答

- 質疑応答
- 問合せ先

【問い合わせ先】

横浜市立大学 八景キャンパス I T 推進担当

TEL:045-787-2340/2341 Mail:center@yokohama-cu.ac.jp

ありがとうございました。